

2023 年 IEEE 東京支部 総会資料

2023 年 3 月 17 日

IEEE 東京支部

<https://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

2023年IEEE東京支部総会

総 会

日 時： 2023年3月17日（金） 14時50分～15時25分

場 所： WEB会議（Zoom）

議 題： **【報告事項】**

第1号議案： 2023-2024年役員・理事選出

第2号議案： 2022年活動報告

第3号議案： 2022年決算報告

第4号議案： 2023年活動計画

第5号議案： 2023年予算

新 Fellow 表彰式

日 時： 2023年3月17日（金） 15時35分～16時05分

場 所： 同 上

講 演 会

日 時： 2023年3月17日（金） 16時20分～17時30分

場 所： 同 上

講演者： 鬼頭 傑 氏（キオクシア株式会社）

2021年IEEE Andrew S. Grove Award：青地 英明氏・勝又 竜太氏と共同受賞

演 題： 「超高密度三次元フラッシュメモリの開発と将来展望」

2023-2024年IEEE東京支部役員・理事・委員会

1. 役員

Chair	支部長	相澤 清晴	(東京大学)
Vice Chair	副支部長	佐田 豊	(東芝)
Secretary	セクレタリ	奥村 治彦	(東芝)
Treasurer	トレジャラ	樋口 健一	(東京理科大学)

2. 理事会メンバー

*相澤 清晴 (東京大学)	*植村 あい子 (日本大学)
*佐田 豊 (東芝)	*河東 晴子 (三菱電機)
*奥村 治彦 (東芝)	太田 直久 (元 慶応義塾大学)
*樋口 健一 (東京理科大学)	石垣 雄太朗 (東芝)
*添谷 みゆき (東芝)	中野 義昭 (東京大学)
*森田 逸郎 (早稲田大学)	重松 昌行 (住友電気工業)
*賀屋 秀介 (古河電気工業)	前原 文明 (早稲田大学)
*中村 守里也 (明治大学)	Pauline N. Kawamoto (信州大学)
*松尾 綾子 (東芝)	久本 大 (日立製作所)
*廣畑 賢治 (東芝)	

(注：*印は、理事会のVoting Member)

3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Operations	添谷 みゆき (東芝)	木村 昭悟 (NTT)	小畑 晴香 (東芝)
Fellow Nominations	森田 逸郎 (早稲田大学)	馬場 俊彦 (横浜国立大学)	釣谷 剛宏 (KDDI 総合研究所)
Membership Development	賀屋 秀介 (古河電気工業)	熊田 亜紀子 (東京大学)	李 成薫 (東京大学)
Nominations	中村 守里也 (明治大学)	平野 章 (東京電機大学)	品田 聡 (NICT)
Technical Program	松尾 綾子 (東芝)	松本 敦 (NICT)	秋田 耕司 (東芝)
Publications	廣畑 賢治 (東芝)	奥村 治彦 (東芝)	金 瑞旭 (東芝)
Student Activities ☆	植村 あい子 (日本大学)	吉田 嵩 (東京都立産業技術高等専門学校)	秦野 亮 (東京理科大学)
History	河東 晴子 (三菱電機)	鈴木 浩 (メタエンジニアリング研究所)	喜々津 哲 (東芝)

☆Student Activities Student Representative 未定

2022年東京支部活動報告

2022年12月1日

Organizational Activities

- 2022年IEEE東京支部総会
3月10日(木) 14:50～15:25, Hybrid(機械振興会館), 参加者：26名
2021年活動実績および会計、2022年活動計画および予算が報告された。
- 理事会
 - ・第1回：2022年3月10日(木) 12:00～14:00 Hybrid(機械振興会館), 参加者：20名
 - ・第2回：2022年6月29日(水), 15:00～17:00 Hybrid(住友電気本社), 参加者：21名
 - ・第3回：2022年9月6日(火), 15:00～17:30 Hybrid(住友電気本社), 参加者：21名
 - ・第4回：2022年12月1日(木), 15:00～17:00 Hybrid(住友電気本社), 参加者：29名

Membership Development Activities

- 会員増加と維持の取組
 - ・会員維持施策として、在籍年数バッヂを製作。同一デザインで色の異なる5, 10, 20, 25, 30, 40年の6種類を製作し、毎年2 or 3月に配布する。
※2022年3月配布数：942個
- フェロー・シニア会員増強の取組
 - ・会員を多く擁する企業等組織向けにシニアメンバー昇格奨励の依頼を個別に実施する計画が提案された。各組織内で機動的に奨励活動を促進するキーパーソンを選定し、フェロー推薦、シニア申請を増やす取組みを開始いただいた。この体制での推進方法がどう機能するのかをウォッチし、次年度への取り組みへフィードバックする予定。

Chapter Activities

- 国際会議のMOU締結：3件(Joint Chapter)

Professional and Continuing Education Activities

- 講演会
 1. 2022年3月10日(金)：東京支部講演会
演題：「予測不能の時代 データが明かす生き方、企業、そして幸せ」
講師：矢野 和男氏（日立製作所 フェロー、株式会社ハピネスプラネット 代表取締役 CEO）
場所：機械振興会館、Zoom 併催 参加人数：46名（内、会場21名）

2. 2022年6月14日(木)：LMAG-Tokyo 拡大イブニングサロン、東京支部講演会
演題：「宇宙旅行は今にも始まる：日本はどうする？」
講師：高野 忠氏（JAXA 宇宙科学研究所 名誉教授、日本宇宙旅行協会 理事長）
場所：機械振興会館、Zoom 併催 参加人数：98名（内、会場15名）
3. 2022年6月30日(水)：東京支部講演会
演題：「VLSI 集積化のための銅配線技術と原子スイッチの産業応用」
講師：多田 宗弘氏（ナノブリッジ・セミコンダクター株式会社 取締役）
場所：Zoom 参加人数：54名
4. 2022年7月13日(水)：東京支部講演会
演題：「人工光合成の現状と展望」
講師：井上 晴夫氏（東京都立大学 特別先導教授）
場所：Zoom 参加人数：46名
5. 2022年7月27日(水)：東京支部講演会
演題：「ヘテロ集積メンブレン光デバイス」
講師：並木 周氏（国立研究開発法人産業技術総合研究所 プラットフォームフォトニクス研究センター長）
場所：Zoom 参加人数：47名
6. 2022年8月26日(金)：東京支部講演会
演題：「オンチップ電源回路の研究開発」
講師：丹沢 徹氏（静岡大学 教授）
場所：Zoom 参加人数：80名
7. 2022年10月6日(木)：東京支部講演会
演題：「グリーン・マルチコアプロセッサ・アーキテクチャと自動並列化コンパイラに関する研究」
講師：笠原 博徳氏（早稲田大学 副総長・教授）
場所：Zoom 参加人数：54名
8. 2022年11月1日(火)：東京支部講演会
演題：「Wireless AI:A New Sixth Sense to Deciphering our World」
講師：K. J. Ray Liu氏（IEEE 2022 President, CEO of Origin Wireless AI）
場所：東京大学本郷キャンパス、Zoom 併催 参加人数：128名（内、会場45名）

9. 2022年11月2日(水)：東京支部講演会
演題：「映像符号化の研究開発に携わって」
講師：高村 誠之 氏 (法政大学情報科学部 教授、NTT コンピュータ&データサイエンス研究所 客員上席特別研究員)
場所：Zoom 参加人数：39名

10. 2022年12月13日(火)：東京支部講演会 予定
演題：「ヒューマノイドロボット研究とその応用」
講師：高西淳夫 氏 (早稲田大学 教授)
場所：Zoom

● Milestone

1. 自動炊飯器の商業化 1923年 東芝と三菱電機 (2021-08)
Commercialization of Rice Cookers, 1923
アドボケート承認待ち (予定は2022年1月30日)
2. 世界初の商用セルラーシステムと奥村カーブ NTT、NTT Docomo (2021-15)
Mobile Radio Propagation Model “OKUMURA-Curve” and First Commercialized Full-Scale Cellular Telephone System
アドボケートより、2件に分けることを勧められそのように進めることとした。奥村カーブ、NTTPCシステムとわかる。いずれも東京支部がスポンサーとなる。現在最終推薦文を作成中。贈呈式は、同時開催とする。
3. パルスオキシメータ 日本光電 (2021-21)
Invention of Pulse Oximeter
プラークの設置場所は日本光電の開発センター。支部長、会社トップからのレターを提出した。アドボケート承認待ち
4. 面発光レーザー (2022-11)
Vertical-Cavity Surface-Emitting Laser, 1977- 東工大 費用負担、顕彰 先承認、申請書完成、サポートレター準備中
5. 座席指定システム MARS (Magnetic-electronic Automatic Reservation System 1) 2022, 10, 28 提出済み (2022-16)
First Multi Access seat Reservation System 鉄道総合技術研究所、日立製作所、鉄道情報システム
JR各社で調整が終了、申請を了承、プラーク設置場所は鉄道博物館となる。アドボケートアサイン待ち

6. TRON リアルタイム OS (2022 - 15)

TRON Real-Time Operating System Family 1984

プラークは東大本郷のダイワユビキタス学術研究館に置くことで了承されている。サポートレター準備中。

Students Activities

1. HP 作成 (1月13日 早稲田大学 SB)
2. Waseda SB 交流会 (2月22日 早稲田大学 SB)
3. Waseda SB 引継ぎミーティング (3月1日 早稲田大学 SB)
4. 新歓活動に向けての準備会 (3月8日 早稲田大学 SB)
5. 早稲田大学サークル合同説明会に参加 (4月4日 早稲田大学 SB)
6. IEEE SB 説明会・歓迎会・交流会 (4月12日, 27日 早稲田大学 SB)
7. C 言語ワークショップ (4月25日 東京農工大学 SB)
8. 新入生歓迎会 (4月28日 東京農工大学 SB)
9. 二足歩行ロボットの作成 (5月～10月 東京電機大学 SB)
10. レポート書き方講座 (5月1日 youtube 公開 電気通信大学 SB)
11. 論文の探し方・書き方勉強会 (5月24日 早稲田大学 SB)
12. Study Session: On nonlinear electronic circuits: Some phenomena, experiments and applications (6月1日 東京工業大学 SB)
13. Student Branch Leadership Training Workshop (6月10日)
14. オープンキャンパスでの活動紹介 (6月11日, 12日 東京電機大学 SB)
15. LaTeX 講座 (6月28日 電気通信大学 SB)
16. 2022年後期活動計画ミーティング (7月29日 早稲田大学 SB)
17. IEEE Region 10 SYWL Congress (8月10日-14日)
18. 鳩山祭 (学園祭) での活動紹介 (11月5日, 6日 東京電機大学 SB)
19. SBLTW2022 (11月18, 19日)
20. IEEE Student Branch Research Presentation Encouragement Workshop(11月25日 東京電機大学, 青山学院大学, 明治大学, 中央大学, 東京農工大学)(予定)
21. The 19th IEEE TOWERS (11月26日 IEEE TOWERS 実行委員会)
22. 役員ミーティング (12月 東京工業大学 SB)
23. Latex 勉強会 (12月 東京理科大学 SB)
24. Docker 勉強会 (12月 東京理科大学 SB)

Affinity Group Activities

- Young Professionals (YP)
 - 1月30日 IEEE Tokyo YP: Kick-off meeting＋年間活動計画に関するグループディスカッション (Online)。
 - 1月16日 IEEE Tokyo YP & EA: Online study session on Robotics
 - 2月13日 IEEE Tokyo YP & EA: Online study session on Robotics
 - 2月13日 IEEE Tokyo YP & EA: Online study session on Machine Learning
 - 2月19日 IEEE Tokyo YP: YP Radio Episode 8
 - 3月2日 IEEE JC EA Meeting no. 1
 - 3月10日 IEEE Tokyo Section Board of Directors' meeting no. 1
 - 3月12日 IEEE Tokyo YP & EA: Webinar “My Personal Journey with IEEE” with **IEEE President and CEO 2021 Susan Kathy Land**
 - 6月4日 IEEE Tokyo YP & EA: Webinar “IEEE R10 and You” with **IEEE R10 Director Deepak Mathur**
 - 6月29日 IEEE Tokyo Section Board of Directors' meeting no. 2
 - 7月4日 IEEE JC EA Meeting no. 2
 - 8月12日 IEEE Tokyo YP & EA: “Find Your Major: Episode 1: Information Theory and Coding” with Prof. Muriel Medard, **Massachusetts Institute of Technology (MIT)**
 - 8月31日 IEEE Tokyo YP & EA: “Find Your Major: Episode 2: Voice and Speech Signal Processing” with Dr. Kong-Aik Lee, **Agency for Science, Technology, and Research (A*STAR), Singapore.**
 - 9月6日 IEEE Tokyo Section Board of Directors' meeting no. 3.
 - 9月19日 IEEE Tokyo YP & EA: **IEEE Paper Writing Workshop** “Secrets to high Quality Technical Writing” with **Dr. Akihiko (Ken) Sugiyama.**
 - 11月12日 IEEE Tokyo YP and EA co-sponsored: IEEE Tokyo Shin-etsu joint Section WIE organized: Women in Engineering 2022.
 - 11月15日 IEEE Tokyo YP Students' Transition and Elevation Partnership (IEEE STEP 2022) at **Yahoo! JAPAN Research.**
 - 11月24日 IEEE JC EA Meeting no. 3
 - 11月26日 IEEE Tokyo YP: IEEE TOWERS 2022 support.
 - 12月1日 IEEE Tokyo Section Board of Directors' meeting no. 4.

- Life Members Affinity Group (LMAG)
 1. 3月10日 2022年 LMA-Tokyo 総会開催
 2. 3月10日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (対面)

3. 3月10日 東京支部講演会を共催 (TPC 主催)
4. 3月12日 東京支部 EA 主催、LMAG 協賛の講演会
5. 3月28日 R10 LMAG Meet に参加
6. 4月24日 ニュースレター34号を発行
7. 5月2日 LMAG 役員会開催 (オンライン)
8. 6月4日 東京支部 YP/EA 主催、LMAG 協賛の講演会
9. 6月14日 イブニングサロン 東京支部 TPC 共催
10. 6月14日 LMAG 役員会開催
11. 6月19日 R10 LMAG Meet に参加
12. 6月30日 東京支部講演会を共催 (TPC 主催)
13. 7月13日 東京支部 LMAG 講演会 (TPC 共催)
14. 7月13日 LMAG 役員会開催
15. 7月27日 東京支部講演会を共催 (TPC 主催)
16. 8月11日-14日 SYWL 韓国
17. 8月12日 R10 LMAG Meet に参加
18. 8月12日 東京支部 YP/EA 主催、LMAG 協賛の講演会
19. 8月18日 LMAG 役員会開催
20. 8月24日 KDDI 送信所 (八俣) 見学会
21. 8月26日 東京支部講演会を共催 (TPC 主催)
22. 8月31日 東京支部 YP/EA 主催、LMAG 協賛の講演会
23. 9月1日 ニュースレター35号を発行
24. 9月19日 東京支部 YP/EA 主催、LMAG 協賛の講演会
25. 9月29日 JAXA 宇宙科学研究所見学会
26. 10月13日 LMAG 役員会開催 (メール審議)
27. 10月16日 R10 LMAG Meet に参加
28. 10月26日 ANA 羽田整備工場見学会
29. 11月1日 東京支部講演会を共催 (TPC 主催)
30. 11月2日 東京支部講演会を共催 (TPC 主催)
31. 11月26日 TOWERS
32. 12月14日 鉄道博物館・JR 東日本研究開発センター見学会
33. 12月21日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (対面)

● Women in Engineering

◆役員会

1. 2022年2月22日 第5回役員会開催：オンライン開催，8名出席
2. 2022年6月17日 第6回役員会開催：オンライン開催，7名出席

3. 2022年9月3日 第7回役員会開催：信州大+オンライン開催，参加9名

4. 2022年11月7日 第8回役員会開催：オンライン開催，参加8名

◆主催・共催・協賛イベント

1. 2022年3月9日 国際女性デー Online Coffee-break (主催)：オンライン開催，参加12名

2. 2022年6月23日 国際女性エンジニアデーOnline Coffee Break：オンライン開催，参加18名

3. 2022年10月7-8日 Japan SYWL Workshop (MAW 併催イベント)：東京信越 WIE より参加2名

4. 2022年11月12日 Women in Engineering 2022 (主催)：日本科学未来館+オンライン開催，参加78名(登録88名)

5. 2021年11月13日 TOWERS (協賛)：オンライン開催

Awards & Recognition Activities

- 2022年 新 Fellow 表彰式

東京支部において、2022年に新たに11名の会員が Fellow に昇格した。表彰式を3月10日(木)の総会と同日にハイブリッド形式で実施し、内4名が機械振興会館にて、中野 Chair より、直接 記念のプラークを授与された。

- Milestone 贈呈式

本年は授賞式はなかった

Communication Activities (Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

1. IEEE Tokyo Bulletin の作成、発行

- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.137 メルマガ発行 (1月31日)
- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.138 メルマガ発行 (4月15日)
- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.139 メルマガ発行 (7月29日)
- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.140 メルマガ発行 (8月9日)
- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.141 メルマガ発行 (9月12日)
- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.142 メルマガ発行 (10月11日)
- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.143 メルマガ発行 (10月24日)
- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.144 メルマガ発行 (11月28日)
- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.145 メルマガ発行 (12月26日)
- ・ IEEE Tokyo Bulletin No.146 メルマガ発行 (12月28日)

2. ホームページ更新

[IEEE 東京支部]

- ・ TOP ページ (新着追加)
- ・ 2022 年 主催・共催講演会 追加
- ・ 2022 年 協賛イベント 追加
- ・ 2022 年 IEEE 東京支部 総会・講演会・新 Fellow 表彰式 ご案内
- ・ 2022 年 IEEE 東京支部 総会/LMAG 総会 開催報告 活動報告
- ・ 2021 年 第4回、2022 年 第1回、第2回、第3回 理事会議事録

[IEEE ジャパンカウンスル]

- ・ TOP ページ (新着追加)
- ・ 会員構成 最新データへ更新
- ・ 2021 年 第3回、2022 年第1回、第2回理事会議事録
- ・ New Fellows (2022) / Senior Member (2022)更新

[東京支部/JC HP 全般]

- ・ 本部 Web Site 変更に伴う、関連ページ・リンク等の更新

3. R10 Newsletter

以下の通り、2022 年に合計 4 件の記事が掲載された。

- ・ January 2022 Edition
 - a) IEEE Tokyo Section LMAG - Evening Salon
- ・ April 2022 Edition
 - a) IEEE Tokyo Section LMAG - LMAG-Tokyo Celebrates the Achievement Award
 - b) IEEE Japan Council - IEEE Japan Council Manga Project for Promoting STEM fields
- ・ July 2022 Edition
 - a) IEEE Tokyo Section LMAG - LMAG-Tokyo Activities 2022 (Q2)

4. HP 運営・保守関係

IEEE 東京支部での情報サーバー(Garoon)の活用促進について、重松 Secretary よりメール発信。

Other Organizational Activities

● Educational Activities

1. 1月16日 IEEE Tokyo YP & EA: Online study session on Robotics
2. 2月13日 IEEE Tokyo YP & EA: Online study session on Robotics
3. 2月13日 IEEE Tokyo YP & EA: Online study session on Machine Learning
4. 3月2日 IEEE JC EA Meeting no. 1
5. 3月10日 IEEE Tokyo Section Board of Directors' meeting no. 1
6. 3月12日 IEEE Tokyo YP & EA: Webinar "My Personal Journey with IEEE" with **IEEE President and CEO 2021 Susan Kathy Land**
7. 6月4日 IEEE Tokyo YP & EA: Webinar "IEEE R10 and You" with **IEEE R10 Director Deepak Mathur**
8. 6月29日 IEEE Tokyo Section Board of Directors' meeting no. 2
9. 7月4日 IEEE JC EA Meeting no. 2
10. 8月12日 IEEE Tokyo YP & EA: "Find Your Major: Episode 1: Information Theory and Coding" with Prof. Muriel Medard, **Massachusetts Institute of Technology (MIT)**
11. 8月31日 IEEE Tokyo YP & EA: "Find Your Major: Episode 2: Voice and Speech Signal Processing" with Dr. Kong-Aik Lee, **Agency for Science, Technology, and Research (A*STAR), Singapore.**
12. 9月6日 IEEE Tokyo Section Board of Directors' meeting no. 3.
13. 9月19日 IEEE Tokyo YP & EA: **IEEE Paper Writing Workshop** "Secrets to high Quality Technical Writing" with Dr. Akihiko (Ken) Sugiyama.
14. 11月12日 IEEE Tokyo YP and EA co-sponsored: IEEE Tokyo Shin-etsu joint Section WIE organized: Women in Engineering 2022.
15. 11月15日 IEEE Tokyo EA co-sponsored: IEEE Tokyo YP Students' Transition and Elevation Partnership (IEEE STEP 2022) at **Yahoo! JAPAN Research.**
16. 11月24日 IEEE JC EA Meeting no. 3
17. 12月1日 IEEE Tokyo Section Board of Directors' meeting no. 4.

以上

会員の状況

1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	-	265	416	5,259	727	294
2009	7,814	184	2.41	2	336	459	5,880	408	729
2010	7,865	51	0.65	2	331	473	5,937	401	721
2011	7,763	-102	-1.30	2	335	497	5,800	416	713
2012	7,987	224	2.89	2	343	511	5,959	372	800
2013	7,911	-76	-0.95	2	342	507	5,937	280	843
2014	7,849	-62	-0.78	2	346	517	5,985	245	754
2015	7,892	43	0.55	2	343	521	5,975	234	817
2016	7,835	-57	-0.72	2	343	532	5,982	210	766
2017	7,798	-37	-0.47	2	338	555	5,886	197	820
2018	7,850	52	0.67	2	333	569	5,892	202	852
2019	7,761	-89	-1.13	2	332	588	5,838	183	818
2020	7,601	-160	-2.06	2	329	610	5,736	187	737
2021	7,531	-70	-0.92	2	319	622	5,687	145	756
2022	7,558	27	0.36	2	316	622	5,659	135	824

2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	-	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	-	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594
2018	14,368	154	1.08	3	493	991	10,532	363	1,986
2019	14,232	-136	-0.95	3	489	1,050	10,385	336	1,969
2020	13,798	-434	-3.05	3	481	1,108	10,177	324	1,705
2021	13,753	-45	-0.33	3	475	1,147	10,123	244	1,761
2022	13,845	92	0.67	3	470	1,170	10,072	233	1,897

略号： HM: Honorary Member
M: Member

F: Fellow
A: Associate

SM: Senior Member
St: Graduate Student, Student

IEEE 東京支部 2022年会計報告(1～12月) 活動ベース

2023.3.17

単位：JPY

【収入の部】	2022年予算	決算(12月末)	予算比	備考
210 Meetings & Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	16,000	-	講演会等の懇親会徴収分
310 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate YP Rebate LMAG Rebate WIE Rebate SB Rebate Chapter Rebate	3,159,365 23,980 32,155 23,980 0 946,120	3,568,051 37,574 37,574 28,021 114,123 946,352	113% 157% 117% 117% - 100%	
320 Region Receipts LMAG FUND YP FUND その他 Fund等	0 0 230,180	0 0 215,597	- - 94%	・2000USD 2021年 Section Incentive (予算枠のみ掲載) ・60USD (Tokyo Section 2021 SMIEEE-Senior Member Elevation Nomination Incentive) ・500USD (2022 Region 10 Best Membership Retention Large Section Award) ・975.5USD LMAG Fund (Evening Salon)
330 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	2,167,994	2,542,760	117%	SA総額の15%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards) 監査費用サポート	180,000	180,000	100%	
334 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	14,453,291	16,531,468	114%	
340 雑収入 (CB口座)	5,000	57,498	1150%	
345 雑収入 (CB以外)	3,000	84	3%	
収入合計	21,225,065	24,275,102	114%	

【支出の部】	2022年予算	決算(12月末)	予算比	備考
410 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費 その他会合費 総会運営費用 講演会開催費用	300,000 50,000 650,000 520,000	121,500 0 488,513 298,988	41% 0% 75% 57%	
430 Advertising IEEE (Expense) 広告費	500,000	422,440	84%	SMメダル、ピンバッチ送付
480 Student Activities SB支援費 SB Rebate支払	700,000 0	382,050 106,226	55% -	
490 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助) YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助) WIE支援費 その他イベントへの支出など SIGHT (Fund支払)	102,155 543,000 320,000 0 0	148,594 47,273 360,842 609,786 0	145% 9% 113% - -	Fund等込み Rebate未送金分含む (37574円) R10SYWL,MAWへの派遣支援 (LMAG2名)
550 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金 Chapter Rebate 支払い	14,453,291 946,120	16,528,468 946,351	114% 100%	*1500円換金手数料
事務局費1 計	3,000,000	3,616,666	121%	(注釈1) JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担)
事務局費2 計	500,000	359,704	72%	(注釈1) JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	340,000	-623,403	-183%	東京支部 監査費用・手数料・備品等、CB口座為替差益相殺 (838982円)
予備費	800,000	0	0%	
支出合計	23,724,566	23,813,998	100%	

収入－支出	-2,499,501	461,104	
前年度からの繰越金	10,765,548	10,765,548	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	8,266,047	11,226,652	(3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

(注釈1：事務局費1～2については予算月割りの暫定額にて報告)

■ 12月末日 現預金残高(三井住友銀行+CB+小口)	15,679,496
内訳 普通預金	4,898,790 OK
小口現金	20,000 OK
東京YP口座	215,814 OK
CB口座	10,544,892 OK

ここからは数値確認のため使用

活動ベース 12月末時点の収支+繰越金	11,226,652
実残高との相違	4,452,844

資産 未収	104,960
負債 未払 (2022年度分)	727,034
所得税預かり分	0
SA	0
2022事務局費未払分	3,976,370
	4,598,444

±0確認→ **-145,600**

other assets

2022年度IEEE 東京支部 決算報告書 (本部報告/監査)

本部報告 (YP口座・本部引当金を含む)、監査基準

科 目	2022年12月31日	2021年12月31日
Balance Sheet		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	4,898,790	9,270,250
○普通預金 (YP)	215,814	215,812
○CB預金	10,544,892	4,476,559
◇現金・預金合計	15,679,496	13,982,621
◇その他流動資産	※1 209,340	※1 209,340
流動資産合計 :	15,888,836	14,191,961
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
固定資産合計 :	145,600	145,600
資産合計 :	16,034,436	14,337,561
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	※2 3,572,013	※2 3,572,013
2. 固定負債 (本部)		
	-	-
負債合計 :	3,572,013	3,572,013
3. 正味財産		
負債および正味財産合計 :	12,462,423	10,765,548
	16,034,436	14,337,561
Plofit and Loss		
I. 収益の部		
2. 10) 会議等参加費	22,000	22,000
2. 90) 不定期開催 会議/イベント収入	-	-
3. 10) 本部からのRebate受取	4,255,386	4,255,386
3. 20) 本部からのFund受取	772,167	772,167
3. 30) Councilからの受取 (SA還元分)	2,169,567	2,169,567
3. 32) その他本部からの受取	180,000	180,000
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	14,463,781	14,463,781
3. 40/3. 45) 受取利息	6,186	6,186
3. 70) その他受取	-	-
3. 90) Reserve Allocation Income	-	-
収益合計 :	21,869,087	21,869,087
II. 費用の部		
4. 10) 会合費	577,921	577,921
4. 30) 広告費	539,747	539,747
4. 80) Student Branch支援費	125,102	125,102
4. 90) その他活動費	805,787	805,787
5. 10) 事務所賃借料	623,942	623,942
5. 20) 交通費	-	-
5. 30) 給料諸給	1,197,344	1,197,344
5. 50) 支部およびChapter支援	15,446,323	15,446,323
5. 60) 事務局費および一般管理費	1,475,378	1,475,378
費用合計 :	20,791,544	20,791,544
正味財産増減額	1,077,543	1,077,543
期首正味財産	11,414,715	10,337,172
期末正味財産	12,492,258	11,414,715

科 目	2022年12月31日	2021年12月31日
Statement of Cash Flows		
I. 収入の部		
2. 10) 会議等参加費	16,000	-
2. 90) 不定期開催 会議/イベント収入	-	-
3. 10) 本部からのRebate受取	4,731,695	4,495,406
3. 20) 本部からのFund受取	215,597	638,933
3. 30) Councilからの受取 (SA還元分)	2,542,760	2,113,348
3. 32) その他本部からの受取	180,000	180,000
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	16,468,428	14,088,987
3. 40/3. 45) 受取利息	57,582	9,763
収入合計 :	24,212,062	21,526,437
II. 支出の部		
4. 10) 会合費	909,001	380,642
4. 30) 広告費	422,440	1,045,000
4. 80) Student Branch支援費	217,581	209,569
4. 90) その他活動費	1,128,921	491,830
5. 10) 事務所賃借料	-	-
5. 20) 交通費	-	-
5. 30) 給料諸給	-	-
5. 50) 支部およびChapter支援	17,056,054	15,241,182
5. 60) 事務局費および一般管理費	-566,078	1,126,687
支出合計 :	19,167,919	18,494,910
現金・預金増減額	5,044,143	3,031,527
期首現金・預金残高	12,691,775	9,660,248
期末現金・預金残高	17,735,918	12,691,775

※1) 2022年度 未収 SA還元 (後期分)

※2) 2022年度 未払 SB支援費・YP活動費、および事務局費 (Japan Council立替分)

**IEEE ANNUAL GEOGRAPHIC UNIT
FINANCIAL REPORT**

IEEE Tokyo Section

December 31, 2022

Report of Independent Accountants

To the Chair of IEEE Tokyo Section

We have audited the accompanying IEEE ANNUAL GEOGRAPHIC UNIT FINANCIAL REPORT of IEEE Tokyo Section expressed in Japanese yen as of and for the year ended December 31, 2022.

The financial reporting package is the responsibility of IEEE Tokyo Section's chair. Our responsibility is to express an opinion on the financial reporting package based on our audit.

Except as discussed in the following paragraph, we conducted our audit in accordance with generally accepted auditing standards. Those standards require that we plan and perform the audit to obtain reasonable assurance about whether the financial reporting package is free of material misstatement. An audit includes examining, on a test basis, evidence supporting the amounts and disclosures in the financial reports. An audit also includes assessing the accounting principles used and significant estimates made by chair, as well as evaluating the overall adequacy of the presentation of the information in the financial reports. We believe that our audit provides a reasonable basis for our opinion.

We were unable to obtain sufficient appropriate evidence supporting Custody Banking Tokyo Section stated at JPY 10,544,892 at December 31, 2022.

The accompanying financial reporting package has been presented solely to enable IEEE HQ to prepare consolidated financial information and not to report on IEEE Tokyo Section as a separate entity. Accordingly, the financial reporting package is not intended to present fairly the financial position of IEEE Tokyo Section as of December 31, 2022 or the result of its operation for the year then ended in conformity with generally accepted accounting principles.

In the circumstances, we are unable to and do not express an opinion on whether financial information in the accompanying financial reporting package is present fairly in accordance with generally accepted accounting principles.

However, in our opinion, except for the effects of such adjustments, if any, as might have been determined to be necessary had we been able to examine evidence regarding the bank account, the financial information contained in the accompanying financial reporting package of IEEE Tokyo Section as of and for the year then ended December 31, 2022 has been properly prepared, in all material respects, to give the information required to be shown in accordance with the procedures in the L50 Financial Report Form and Instructions on the IEEE Web-site.

The report is intended solely for the use of IEEE HQ in connection with the preparation and audit of IEEE financial information. It should not be used for any other purpose.

Mori & Co.

Mori & Co.

February 17, 2023

IEEE 東京支部 2023 年 活動計画

1. 総会及び理事会

- 2023 年 IEEE 東京支部総会
3 月 17 日(金) 14:50～15:25 機械振興会館にて開催予定
- 理事会
以下日程にて開催予定
第 1 回理事会: 2023 年 3 月 17 日(金) 12:00～14:00 機械振興会館
第 2 回理事会: 2023 年 6 月 16 日(金) 15:00～17:00 東芝
第 3 回理事会: 2023 年 9 月 11 日(月) 15:00～17:00 東芝
第 4 回理事会: 2023 年 12 月 1 日(金) 15:00～17:00 未定

2. 財政運営

昨今の急速な円安の進行もあり、2022 年収支は健全。しかしながら為替変動は予断を許さないため円高リスクも考慮し安定した運営を目指す。2022 年度は、行動制限も緩和され、オンラインからオフラインへの活動の転換も見られたことから、2023 年は、コロナ後を見据え、オンライン・オフライン各々の長所を活かした、会員獲得、会員継続、学会加入価値の向上に繋がる活性化施策の推進をこころがける。

3. 講演会・学生支援活動

- 東京支部講演会の開催
Technical Program Committee を中心に、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画する。LMAG(Life Members Affinity Group)、YP(Young Professionals) ほか各グループとの共催や関連学会との協賛を積極的に推進する。
- Students Branch の支援
東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学、中央大学、東京農工大、電気通信大学、青山学院大学の 13 校で、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学、同志社大学、福井大学、琉球大学、会津大学、広島支部 SB、信越支部 SB、

室蘭工業大学 SB があり(全国合計 34 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。

学生ブランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけを行うとともに活動が減少傾向にあるブランチへの働きかけを行う。JC SAC と連携して感染症の拡大状況も考慮した活動支援ガイドラインを設定し、イベント開催の経済的・技術的支援などを通じたブランチ活動の活性化と連携に協力する。他 Affinity Group とも連携してブランチ新設への働きかけを行う。

4. 若手会員及び Life 会員向け活動の活性化

2010 年 10 月に設立された Tokyo Life Members Affinity Group を中心に Life 会員自身の活動の活性化を支援する。また 2008 年 11 月に設立された Tokyo Young Professionals を中心に若手研究者の活性化支援を行う。さらに LMAG、YP に加え、Student Branch・Japan Council、Women in Engineering との世代・分野・所属を超えた連携・交流を推進する。

● Young Professionals

We will continue to organize meaningful and impactful activities that are based on education to support the careers of students and researchers in Japan. YP Radio, Find Your Major, academic workshops by international collaboration with top overseas universities and research institutes, STEP, paper writing workshops etc. will be held. We will proactively support and create opportunities for the Japanese students so that they can apply for internship, study, and job in the topmost research centers of the world, and flourish in their career.

● Life Members

3 月 6 日 LMAG 総会開催予定。LMAG 見学会、サロン、ニュースレターの発行など、引き続き Life 会員の交流を行う。

● Women in Engineering

Tokyo Shin-etsu Joint Sections WIE は 2020 年 7 月に設立され、東京支部および信越支部のメンバーが連携しながら活動を行なっている。2023-2024 は信越支部のカワモト先生が Chair となるため、信越支部における WIE の認識と会員数の増強を目指したい。今後も他 AG と連携しながら活発にイベント開催し、WIE の周知および会員の勧誘を行う。

5. 認定及び表彰支援

● Milestone 認定支援

2014年、日本で初めての Section 傘下の History Committee を常設委員会として発足した。今後も、Milestone 認定への取り組みを引き続き積極的に行う。マイルストーン推薦に不慣れな組織に関しては、推薦書作成、提出を代行することにする。また、JC-HC のホームページ管理をおこなう。

● IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」「研究機関内に奨励活動を促進するキーパーソンを選定し、フェロー推薦、シニア申請を増やす」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2012年からの施策を継続し、ノミネーションのための情報などを支部ホームページに掲載することによるノミネータ支援の強化を図るとともに、Fellow、支部会員、各研究機関への電子メールを通じての広報を推進することで推薦数増を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

6. 会員とのコミュニケーションと会員の拡大

(Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

● ホームページと Tokyo Bulletin

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin (日本語、英語)を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

● 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、引き続き Membership Development Committee の活動の活性化、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増加を図る。また、高グレード会員 (Fellow + Senior Member) の比率が、IEEE の全体平均より低い水準にあることを踏まえて、Senior Member の増強に向けた施策を検討する。さらに、ホームページによる情報発信および効果的な活用を進め、支部独自の表彰制度の新設についての検討も行う。

7. Industry Promotion 活動の強化

東京支部が主催した MAW2015 に続き、関西支部主催で MAW2016、名古屋支部主催で

MAW2017、福岡支部主催で MAW2018、仙台支部主催で MAW2019、広島支部主催で MAW2020、札幌支部主催で MAW2021、2022 年は四国支部主催で MAW2022 が開催され、東京支部からも参加した。引き続き 2023 年には信越支部にて MAW2023 開催を予定しているため、支部からも参加し成功に向け支援を行う。

8.東京支部が所管となる Joint Chapter の運営支援

当初、JC では、2022 年度から chapter 支援費に関して Tokyo section への移管を目指していたが、コロナ禍もあり、業務移管準備をほとんど進められなかった。このため、2024 年度に移管時期をずらすして、JC において準備中。2024 年からの移管対象は、Tokyo section の chapter 支援費となる予定 (award 申請は移管の対象外)。

9. 関連組織との連携、協力

● Japan Council 運営の支援

国内他支部(8支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。

● IEEE 本部、R10 との連携

Section Congress や Region 10 Annual Meeting に参加し、他参加者との交流を図る。

本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Office と連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。また、各種国際会議を積極的に開催・参加する。

本部および Region 10 の各種委員会メンバーおよび各種 Award に対して、東京支部から積極的に推薦する。

● ボストン支部およびソウル支部との交流

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部、2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008 年から実施している学生英語論文コンテストを継続開催するとともに、さらに交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

● 国内学会との協力関係の推進

IEEE 本部の国内学会との協働に関するルールに沿って、国内関連学会との協力関係を推進する。MOU 更新作業を継続する。

以上

IEEE 東京支部 2023年計画案 (活動ベース)

2023.3.17

135

単位: JPY

2023年予算: US\$1= ¥135-で試算
(22年11月JC LRSCで検討 ¥140.00-¥5)

【収入の部】	2022年予算	2022年決算(確定)	2023年予算(修正)	備考
210 Meetings & Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	16,000	0	
290 Meetings & Social Events 不定期開催 会議/イベント 収入	0	0	0	
310 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate	3,159,365	3,568,051	3,781,755	\$28,013- (2022年実績で試算)
YP Rebate	23,980	37,574	39,825	\$295- (想定、2022年度実績)
LMAG Rebate	32,155	37,574	39,825	\$295- (想定、2022年度実績)
WIE Rebate	23,980	28,021	29,700	\$220- (想定、2022年度実績)
SB Rebate	0	114,123	0	
Chapter Rebate	946,120	946,352	1,003,050	\$ 7,430- (想定、2022年度実績)
320 Region Receipts LMAG FUND	0	0	0	
YP FUND	0	0	0	
その他 Fund等	230,180	215,597	0	2022年 Section Incentive は無しの手定
330 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	2,167,994	2,542,760	2,635,781	SA総額の15%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards) 監査費用サポート	180,000	180,000	180,000	
334 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	14,453,291	16,531,468	17,571,870	\$130,162-(2022年実績予測)
340 雑収入 (CB口座)	5,000	57,498	5,000	
345 雑収入 (CB以外)	3,000	84	3,000	
収入合計	21,225,065	24,275,102	25,289,806	
【支出の部】				
410 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費	300,000	121,500	100,000	
その他会合費	50,000	0	100,000	マメスト打合わせ関連費用等
総会運営費用	650,000	488,513	650,000	
講演会開催費用	520,000	298,988	500,000	予算計画回答済み
430 Advertising IEEE (Expense) 広告費	500,000	422,440	1,200,000	SMメダル購入、メダル・ピンバッチ送付費用
480 Student Activities SB支援費	700,000	382,050	800,000	予算計画回答済み
SB Rebate支払	0	106,226	0	
490 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	102,155	148,594	180,000	支部からの支援 14万円程度含む *ノベルティ新規作成
YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	543,000	47,273	325,000	予算計画回答済み
WIE支援費	320,000	360,842	750,000	予算計画回答済み
その他イベントへの支出など	0	609,786	0	
SIGHT (Fund支払)	0	0	100,000	Fund応募で対応予定(Section matching Fundのため支部負担も必要)
550 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金	14,453,291	16,528,468	17,571,870	
Chapter Rebate 支払い	946,120	946,351	1,003,050	
事務局費 事務局費1 計	3,000,000	3,616,666	3,000,000	JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担)
事務局費2 計	500,000	359,704	500,000	JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	340,000	-623,403	340,000	*全体で200万円計上予定 東京支部 監査費用・手数料・備品等
予備費 その他	800,000	0	1,500,000	旅費、その他記念品作成70+10万円(予備) R10MTG、SC参加旅費支援のため追加(70万円)
支出合計	23,724,566	23,813,998	28,619,920	
未払組み戻し (YP活動費)				
収入-支出	-2,499,501	461,104	-3,330,115	
前年度からの繰越金	10,765,548	10,765,548	11,226,652	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	8,266,047	11,226,652	7,896,538	(※3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

2023年東京支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	東脇 正高 Masataka HIGASHIWAKI	大阪公立大学/ 情報通信研究機構	<i>for contributions to gallium oxide electronics and millimeter-wave gallium nitride transistors</i>
2	東京	堀 敦 Atsushi HORI	東京工業大学	<i>for contributions to the development and manufacture of low-power CMOS for digital consumer appliances</i>
3	東京	川村 信一 Shin-Ichi KAWAMURA	産業技術総合研究所	<i>for contributions to cost-effective and secure cryptography</i>
4	東京	中臺 一博 Kazuhiro NAKADAI	東京工業大学	<i>for contributions to robot audition and computational auditory scene analysis</i>
5	東京	中野 義昭 Yoshiaki NAKANO	東京大学	<i>for contributions to semiconductor integrated photonic devices and circuits</i>
6	東京	落合 秀樹 Hideki OCHIAI	横浜国立大学	<i>for contributions to power and spectral efficient wireless communication</i>
7	東京	岡田 健一 Kenichi OKADA	東京工業大学	<i>for contributions to millimeter-wave communication circuits design</i>
8	東京	六戸 敏昭 Toshiaki ROKUNOHE	日立製作所	<i>for contributions to eco-friendly compact and reliable high-voltage equipment</i>
9	東京	財満 英一 Eiichi ZAIMA	電力中央研究所	<i>for leadership in ultra-high voltage transmission technology and international standards</i>

2023年他支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	仙台	遠藤 哲郎 Tetsuo ENDOH	東北大学	<i>for contributions to nonvolatile memory and spintronic logic</i>
2	仙台	松岡 隆志 Takashi MATSUOKA	東北大学	<i>for contributions to laser diodes for optical communications and nitride semiconductors for light-emitting devices</i>
3	関西	原田 研介 Kensuke HARADA	大阪大学	<i>for contributions to whole-body manipulation for biped humanoid robots</i>
4	関西	大久保 雅章 Masaaki OKUBO	大阪公立大学	<i>for contributions to non-thermal plasma applications for pollution control</i>
5	福岡	原 善一郎 Zenichiro HARA	三菱電機	<i>for contribution to Large-Scale Color Display systems and practical realization</i>
6	福岡	千住 智信 Tomonobu SENJU	琉球大学	<i>for contributions to wind-power generator automation and control</i>

2023年IEEE Medals, Technical Field Awards, 日本からの受賞者

【Technical Field Awards】

No.	名称	氏名	Citation
1	IEEE Masaru Ibuka Consumer Technology Award	坂村 健 (東洋大学)	<i>For leadership in creating open and free operating systems for embedded computers used in consumer electronics.</i>
1	IEEE Gustav Robert Kirchhoff Award	上田 暁亮 (京都大学)	<i>For the discovery of chaotic phenomena in electronic circuits and for contributions to the development of nonlinear dynamics.</i>

The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

Article II - Officers

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article III - Standing Committees

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
 - Chapter Operations
 - Fellow Nominations
 - Membership Development
 - Nominations
 - Technical Program
 - Publications
 - Student Activities
 - History
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article IV - Management

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

Article V - Nomination and Election of Officers

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ($\frac{2}{3}$) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 29th March 2016.

事務局連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 517 号室

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: tokyosec@ieee-jp.org